

包接化技術生かした商品開発力で新制度に対応

(株)シクロケム

同社は神戸本社に应用研究ラボを持ち、独自の研究開発力を武器にさまざまな企業に環状オリゴ糖の一種であるシクロデキストリン(CD)技術を応用した製品を提供している。機能性表示食品制度ではこれまでの研究で培ってきた自社データのシステマティック・レビュー(SR)をはじめ、技術力を生かした企業間コラボレーションで提携企業の原料や商品に付加価値を提供していく。

自社スタッフでSR対応

同社は、世界最大手のCD原料メーカーであるドイツ・ワッカーケミーの総代理店であり、健康食品や化粧品など幅広い分野でCD包接化技術を活用した技術開発を行うパイオニア的企業。健食分野では包接化コエンザイムQ10(CoQ10)やR体 α -リポ酸包接体、アノトー由来のトコトリエノールの包接化技術をOEMで展開している。

包接とはCoQ10など吸収性や安定性が低い成分を環状オリゴ糖のシクロデキストリン(CD)で包接体(ナノカプセル化)とする特殊技術。これにより、吸収性や持続性の向上や、酸素や他物質との配合で分解されやすい素材の弱点も補うことが期待されるという。

同社では包接化した原料による、さまざまな臨床データの構築を国内外の大学や研究機関と共同で進めてきた。これまで共同研究を進めた大学や研究機関は40以上で、その成果は国内外の研究会や海外の査読付き学術誌にも紹介されてきた。

「査読つき論文を有する開発商品はこれまでに21品におよぶ。すべて詳細を一覧表にまとめている。新制度は海外の論文とこうした論文を併せて活用し、 α -シクロデキストリン(α -CD)や機能性ハチミツのマヌカハニー、包

接化CoQ10、R体 α -リポ酸包接体などで対応していく。すでに取引先からは α -CDやマヌカハニーのSR依頼があり、社内で逐次対応していく」(寺尾啓二社長)という。

海外展開視野に企業コラボも

同社の研究開発力を支えるのは、神戸本社に設置された应用研究ラボと、そこで研究を進める研究員。「社員45人中、17人が研究員。博士号の奨学も行っており、昨年から今年までに2人が入社してから新たに博士号を取得。現在3人目が取得間近。これにより計7人の博士号取得者が研究員として日々の業務に携わっている」(同)。

同社の研究成果は毎年のようにさまざまな学会で発表されている。昨年は同社社員で神戸大学医学研究科・医薬食品評価科学分野・大学院生でもある古根隆広氏がドイツで開催された第17回国際シクロデキストリン学会で、日本人で唯一のポスター賞を受賞。島根県松江市で開催された第31回シクロデキストリンシンポジウムでは、神戸大学医学部客員教授でもある寺尾啓二社長が「補完・代替医療用機能性食品素材ならびに薬用化粧品素材のシクロデキストリンによるナノテク革命」をテーマに特別講演している。こうした同社の技術は健康食品分野にとどまら



さまざまな研究ができる神戸本社のラボ

ず、国内の大手食品メーカーや化粧品メーカー、世界的な生活雑貨メーカーなどに利用されている。

「新制度では、自社の研究データを生かしたSRによる対応のほか、原料メーカーや最終商品メーカーとコラボレーションすることで、素材や製品の持つ可能性を引き出し、欠点を補う付加価値の提供を行いたい。また、R体 α -リポ酸包接体の技術は海外でも通用するものと自負している。欧米の科学誌に論文も発表しており、海外展開も視野に入れた企業とのコラボも進めていきたい」としている。

COMPANY INFORMATION

所在地：東京都中央区日本橋本町
3-9-4 (4F) (東京支店)

TEL：03-5614-7147

FAX：03-5614-7148

URL：<http://www.cyclochem.com/>

事業内容：環状オリゴ糖を応用した機能性素材や応用技術の開発